

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム さくら作成日: 平成 28 年 10 月 13 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが少なくなっているため、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を複数の民生委員や他事業所の管理者、地域で活動している有識者、知見者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの運営や業務改善に取り組んでいく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	面会の多い家族と遠方で面会が少ない家族がおられるので、ホームとの関係にも差があり、利用者の情報提供も温度差があるので、家族全員が利用者の近況や健康状態等が詳細に理解できる体制を整えていく。	家族交流会をホームの行事と兼ねて開催し、家族の悩みや心配事が気楽に話せる環境を整え、家族間の交流と、家族とホームとの信頼関係を築き、何でも話し合える関係を構築していく。また、ホーム便りの復活に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。